

クロイツ タイヤ工場の増床完成 生産能力2倍に拡大

バリ取りシステムメーカーのクロイツ(本社刈谷市野田町、坪根巖社長、電話0566・22・5263)は、タイヤ生産拠点の増床工事が完成し、生産能力を2倍に拡大した。現地の自動車・二輪車関連メーカーをターゲットに、バリ取りシステムに加え、専用機や搬送装置、制御盤、治具など生産設備まわりの製品の設計・製造に対応し、受注拡大をめざす。

(刈谷・片桐芳樹)

自動車・二輪車メーカー向け



岳井社長
岩井社長
小岩井社長
小岩井社長

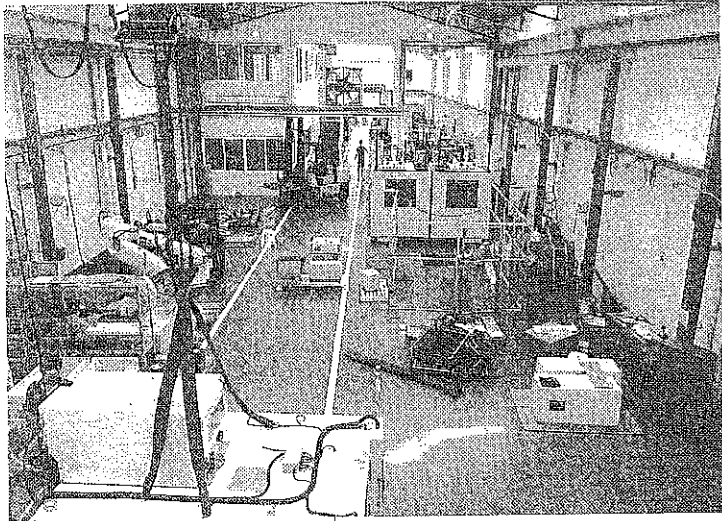
タイヤでは、2008年に

現地法人「クロイツタイヤ

ンド」を設立し、サムット
プラカーン県に生産拠点を
構えている。クロイツタイ
ランドの2015年7月期
の売上高は1億2千万バー
ツ(約4億4千万円)。

今回の増設では、面積で

2倍の1
650平
方に拡
張。生産
能力も、
2倍の2
億バーツ
(約7億
3千万



増床した「クロイツ
イランド」工場内(奥
の部分)

増床に伴い、マシンングセ
ンターとNC旋盤を各1台
新たに導入。工場全体でマシ
ニングセンター3台、NC旋
盤2台、工具研削盤1台など
を備える。また、既存部分も
リニューアルして作業環境
を向上し、食堂など福利厚生
施設も充実した。

現地では、日系はじめ、
ローカルなどの自動車・二
輪車関連メーカーを中心に
順調に受注を獲得してい
る。中田周一・クロイツ会

円)規模まで増やした。



長は「設計から対応できる
強みを生かし、さらなる売
り上げ拡大につなげていき
たい。国内外合わせたグル
ープ全体で年商15億円をめ
ざす」と話している。